

富山県における2024年度のウイルスおよびリケッチア検出状況

矢澤 俊輔 板持 雅恵 福山 圭 佐賀由美子
 高田 嵩久 吉田 琴羽 谷口 咲羅 谷 英樹

Viruses and Rickettsiae Detected from Specimens of Patients
 in Toyama Prefecture in the Fiscal Year 2024

Shunsuke YAZAWA, Masae ITAMOCHI, Kei FUKUYAMA, Yumiko SAGA,
 Takahisa SHIMADA, Kotoha YOSHIDA, Sara TANIGUCHI,
 and Hideki TANI

目的：富山県衛生研究所ウイルス部では、感染症発生動向調査や行政依頼検査、一般依頼検査など、種々の目的によって検査を行っている。ここでは、2024年度に検出されたウイルスおよびリケッチアの検査の概要を報告する。

材料と方法：検査は、検体の種類や状態に応じて、常法に従い実施した。

2024年4月から2025年3月までに受け付けた被検者（食品・拭き取り検体を含む）は延べ893例、検体別では鼻咽頭・鼻腔拭い液・気管吸引液712、食品・拭き取り検体88、糞便（直腸拭い液を含む）65、血液（全血、血漿、血清、末梢血単核球、パフィーコートなど）52、結膜拭い液12、尿10、髄液8、痂皮・皮膚・水疱内容物6、の計953件であった。

結果および考察：被検者893例中735例からウイルスあるいはリケッチアが検出された。以上の成績を臨床診断名別、月別に表1に示し、若干の解説を加えた。月別検出数は、検体採取日をもとに集計した。

インフルエンザおよびインフルエンザ様疾患・呼吸器疾患：県内の医療機関を受診した患者86症例について検査を行ったところ、39症例からAH1型インフルエンザウイルスが、7症例からAH3型インフルエンザウイルスが、16症例からB型インフルエンザウイルスがそれぞれ検出された。その他、インフルエンザウイルス以外では、ボカウイルス4例、パラインフルエンザウイルス3型3例、RSウイルス3例が検出された。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ゲノム解析：SARS-CoV-2陽性例のうち、次世代シー

クエンサーを用いたゲノム解析を行い、618症例について解析した。オミクロン株JN.1系統（BA.2.86、KP系統を除く）が4～8月に、KP系統（KP.1、KP.2、KP3系統を含む）が毎月みられた。これらの結果は、随時富山県衛生研究所のホームページ上でも公開している¹⁾。

脳炎・脳症：1症例の検査を行ったところ、糞便および咽頭拭い液からアデノウイルス3型が検出された。

無菌性髄膜炎：7症例の検査を行ったところ、1症例の鼻咽頭拭い液からエンテロウイルス71型が検出された。

感染性胃腸炎：集団発生事例では、食中毒および有症苦情事例を含む8事例（糞便57検体、拭き取り30検体、食品58検体）について検査を行ったところ、6事例（糞便15検体、食品4検体）からノロウイルスGIIが検出された。

麻疹：麻疹疑い例として検査依頼を受けた2症例の検査を行ったが、麻疹ウイルスおよび風疹ウイルスは検出されなかった。

手足口病：15症例の検査を行ったところ、1症例からコクサッキーウイルス6型が、7症例からコクサッキーウイルス16型が、4症例からエンテロウイルス（型別不明）が検出された。

ダニ媒介感染症〔つつが虫病、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、日本紅斑熱疑いを含む〕：8症例の検査を行ったところ、1症例の血液からつつが虫病リケッチアが検出された。また、2症例から紅斑熱群リケッチア（*Rickettsia asiatica*）が検出された。

エムボックス：2症例の検査を行ったところ、エムボックスウイルスは検出されず、1症例から水痘・帯状疱疹ウイルスが検出された。

表 1. 2024 年度 疾患別, 月別ウイルスおよびリケッチア検出状況

臨床診断名	検出病原体	2024年					2025年								合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
インフルエンザ・ インフルエンザ様疾患	(被検者数)	4	8		4	10	2	2	2	12	21	9	12	86	
	AH1型インフルエンザ		1				1	1	2	12	15	6	1	39	
	AH3型インフルエンザ						1						6	7	
	B型インフルエンザ	4	3								1	3	5	16	
	ボカウイルス		4											4	
	パラインフルエンザ3型					3								3	
	RSウイルス				3									3	
COVID-19ゲノム解析	(被検者数)	37	60	70	76	97	72	56	11	31	46	31	31	618	
	BA.2.86系統 (JN, KP系統を除く)	2												2	
	JN.1系統 (BA.2.86, KP系統を除く)	7	3	2	2	1								15	
	KP系統 (KP.1, KP.2, KP.3系統除く)	4	26	32	37	48	36	27	4	13	11	7	8	253	
	KP.1系統			1	1				1		1			4	
	KP.2系統	1	2	2	2									7	
	KP.3系統	3	24	29	34	48	36	27	3	13	10	7	8	242	
	EG.5系統	3												3	
	XDQ系統	17	5	4										26	
	XEC系統							2	3	5	19	17	12	58	
	その他組換株 (XDQ, XEC系統除く)										5		3	8	
脳炎・脳症	(被検者数)	1												1	
	Ad3	1												1	
無菌性髄膜炎	(被検者数)	1		1		2	1	1				1		7	
	エンテロウイルス71型							1						1	
感染性胃腸炎(集団)	(被検者数) ^b	11	13				3				54	46	18	145	
	ノロGII ^a	4									3	5	7	19	
手足口病	(被検者数)				3	2	3	4	3					15	
	CA6					1								1	
	CA16							4	3					7	
	エンテロ型別不明				1	1	2							4	
ダニ媒介感染症 (つつが虫病, SFTS ^c , 日本紅斑熱疑い)	(被検者数)	1	1	1			1	2	1			1		8	
	つつが虫病リケッチア								1					1	
	紅斑熱群リケッチア							1				1		2	
エムボックス疑い	(被検者数)								1				1	2	
	水痘・带状疱疹												1	1	
水痘	(被検者数)			5	1						1			7	
	水痘・带状疱疹			4	1						1			6	
その他 ^d	(被検者数)		2			1	1							4	
	HHV-6		2											2	
症例合計	(被検者数)	55	84	77	84	112	83	65	18	43	122	88	62	893	
	病原体検出者数	46	70	74	81	102	76	63	17	43	66	46	51	735	

a. ノロGII: ノロウイルスGenogroup II.

b. 拭き取り検体・食品検体を含む

c. SFTS: 重症熱性血小板減少症候群

d. その他: 5月の2症例は、けいれん重責・上気道炎。8月と9月にデング熱疑いの2症例を検査したがいずれも検出されなかった。

水痘・带状疱疹：7 症例の検査を行ったところ、6 症例から水痘带状疱疹ウイルスが検出された。

その他：けいれん重積および上気道炎症例からヒトヘルペスウイルス 6 型が、2 症例検出された。デング熱疑い 2 症例について検査を行ったが、検出されなかった。

謝 辞

ウイルス検査は結果が判明するまでに時間がかかりますが、感染症の発生動向を知るうえで貴重な資料となります。ご多忙の中でご理解、ご協力

をいただいた多くの医療機関および防疫機関の関係各位に深くお礼申し上げます。

文 献

1. 富山県衛生研究所. 新型コロナウイルスゲノム解析検査状況. 2025. <https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department2/genomukaiseki.html> (2025 年 5 月 30 日アクセス可能)